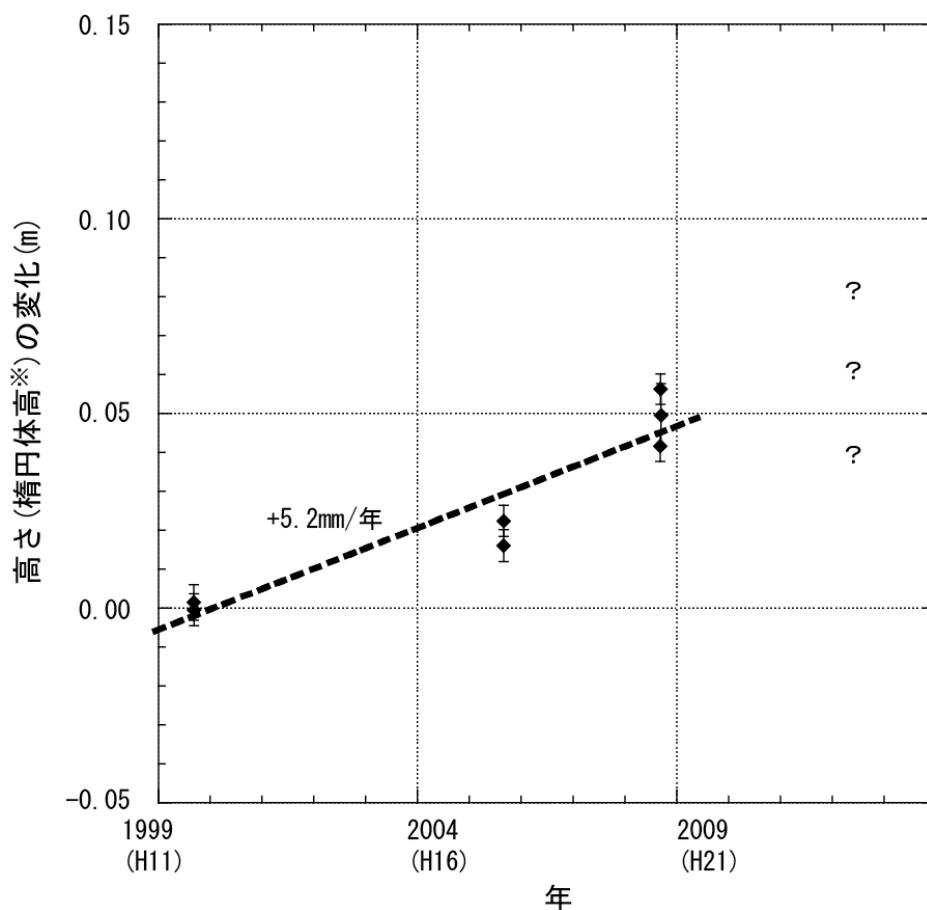


GNSS 観測による一等三角点「穂高岳」の高さ変化



過去の測定値を直線近似すると、穂高岳では年間平均約5mmで隆起する傾向があります。平成11年、17年、20年の測定値は、午前9時から翌日9時までの1日平均値を1つの測定値としてプロットし、平成11年の平均を縦軸のゼロとして表示しています。

※橢円体高とは、GNSS測量等によって得られる幾何学的な高さのことで、ジオイド高を引くことにより東京湾平均海面を基準とした標高へと換算することができます。